

第2760地区  
**豊田ロータリークラブ**  
 『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』  
<http://www.toyotarc.jp>

**本日の例会**

第2423回

日時 平成22年4月15日(木) 12:30~13:30  
 場所 ホテルトヨタキャッスル  
 卓話 赤松 明 君  
 -今週の祝福-  
 会員誕生日 4月20日 光岡主税君  
 ご夫人誕生日 4月19日 中根富夫君ご夫人 治代様  
 結婚記念日 4月15日 磯島吉晴・ユキ ご夫妻  
 4月17日 北川尚子・勲 ご夫妻  
 4月19日 奥田清仁・恭代 ご夫妻  
 4月19日 松井博文・順子 ご夫妻  
 4月19日 伊藤 勲・玲子 ご夫妻

**前回の例会**

第2422回

日時 平成22年4月8日(木) 12:30~13:30  
 会場 ホテルトヨタキャッスル  
 司会 会場委員会 里村平蔵君  
 斉唱 『手に手つないで』  
 来訪者 -

**会務報告 会長挨拶 岡田勝美 会長**



こんにちは。本日は会長報告・会務報告がございませんので、少しお話をさせていただきます。もう暫くいたしますとGWに入りますが、今年は海外旅行・国内旅行共に旅行者数が大幅に増えるらしく大変結構なことでもあります。私も旅行が好きなものですから、よくセントレアを利用させていただきます。あの空港は国際線と国内線の動線も短く、お店も多くあり、又イベントもよく企画されていて観光スポットとしても注目されています。しかしながら、旅行をする側に立つと不便を感じる空港でもあります。空港の企画段階ではハブ空港を目指していたのに、今ではその声も聞かれなくなり路線数も少なくなってきました。ロンドン・パリ・ニューヨーク・ロサンゼルスなどの人気のある大都市への直行便もありませんし、オーストラリアにいたっては1便も無いということで、目的地に行くには乗り継ぎを要し非常に不便であります。同じように、愛知に海外から来ようとしても乗り継ぎを要し不便を感じると思います。本来、港や空港はモノ・カネ・ヒトが集まる経済における最重要施設といわれます。どうか、この地にありますセントレアもなるべく早く滑走路を2本にし、直行便の路線数も増やしていただき、便利で、世界各地からモノ・カネ・ヒトが集まり地域の発展にがんばっていただきたいものだと思います。

**幹事報告 天野勝美 幹事**

- 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認下さい。
- 本日で5/27は100万<sup>ドル</sup>。例会とし、差額分をR財団に寄付させていただきます。
- 5/27の例会はクラブフォーラムとし「50周年記念事業」の説明をさせていただきます。
- 裁判員に任命された場合ですが、公職扱いにはなりませんので、メイクアップが必要となります。

**新会員推薦者バッチ贈呈**

今年度、新会員を推薦されました、松尾隆延君、梅村正明君、梅村泰弘君の3名に贈られました。



**米山奨学会より委嘱状**

米山奨学生カウンセラー: 鈴木幸伸 君  
 (2010 学年度奨学生: 岳 博涵 さん/中国)



**卓話 担当 河原秀紀 君**



本日卓話の河原でございます。今日は愛知県庁より COP10のご説明に川義満様においでいただきました。川様は COP10の支援実行委員会の総務班長であり、県庁では環境部環境生活課 COP10支援室の主任主査をされております。平成19年4月に COP10誘致のために環境部に入られ、翌20年5月にドイツのボンで開催された COP9に出席されております。COP10誘致のために神田知事と共に参加をされ、会議運営の視察のために3週間滞在されたそうです。現在はCOP10の本体会議の地元支援に取り組まれております。それでは川様よろしくお願いたします。

**ゲストスピーカー 川 義満 様(COP10支援実行委員会総務班長) 『COP10開催の意義と地元の取組』**



改めまして、COP10支援実行委員会の川と申します。ただ今ご紹介いただきましたが、愛知県庁環境部の職員であります。私どもは愛知県庁・名古屋市役所、それと経済界の皆様にもご協力いただきまして、先ほどのお話にもありましたドイツの COP9の時には名古屋商工会議所会頭様や中部経済連合会の会長様にも現地に行っていました。一緒に誘致活動をしてまいりました。現在はその流れで今年の10月のCOP10を支えるということで経済界と一体となって活動しております。豊田RCの方々の中にも両経済団体を通じてご協力を頂いているかもしれませんが、この地域を支える大型事業ということで、皆様には10月までさまざまな形で、ご支援ご協力いただけたらと思います。今日は、時間の関係でCOP10のことを理解して頂きたく要約してご紹介させていただきます。今日お話しいたことは3点ございまして、

1. 「COP10とは何か？」
  2. 「生物の多様性はなぜ大事なのか？」
  3. 「この重要な会議を地元として、いかに支えていこうか？」
- 以上のお話をしたいと思います。

最初に1つ目のテーマ「COP10とは何か？」に入ります。正式には「生物多様性条約第10回締結会議」といい、国連の正式な国際会議で 193 カ国が参加します。13年前に京都で行われた COP3が我が国では1回目になります。その次は阪神淡路大震災の10周年で神戸で行われた防災会議で、今回名古屋の地で行われます COP10が我が国でも3回目になります。なにぶん未経験なので私たちが政府に情報を聞きながら手探りで準備しております。そもそも COP とは締約国の会議の意で、いろいろな会議があり気候変動枠組み条約の COP、そのほかにもラムサール条約・ワシントン条約も COP にあたります。会議日程は今年の10月11日より10月29日までとなっており、カルタヘナ議定書第5回締約国会議(COP-MOP5)と生物多様性条約第10回締結会議(COP10)に分かれており、最後の3日間は閣僚級会合となっております。会場は名古屋国際会議場、主催は国連の生物多様性条約事務局、議長国は日本で COP-MOP5は農林水産省の所管で赤松大臣が議長の予定で、COP10は環境省の所管で、小沢大臣が座られます。又、閣僚級会合には内閣府ということで場合によっては総理が座られます。参加規模は約 8000 人を予定しておりますので、宿泊も含めしっかり準備をしなければなりません。場所は、一般参加もできるように白鳥地区・愛地球博公園・栄地区と3箇所予定いたしております。次に会議の目的ですが

1. 地球上の多様な生物をその生息環境とともに保全すること
  2. 生物資源を持続可能な方法で利用すること
  3. 遺伝資源の利用から生ずる利益を公平かつ衡平に分配すること
- の3点になります。2番目の中には先般話題になった黒マグロも議題に上るかもしれません。又3番目の中身は途上国で取れた原材料を先進国で加工して得た莫大な利益は、途上国へも公平に還元しなさいというもので大きな議題になると思います。今年 2010 年は生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという目標の目標年に当たりますが、現実にはむしろ生物絶滅速度は速くなってきて、新たに具体的な数値目標が求められています。もうひとつ大きな議題として遺伝資源に遺伝子組み換えをした生物が悪影響を及ぼしたときにどう責任を負うかが問われ枠組みが必要です。どの議題も途上国が主張し法的拘束を要求してくる一方、先進国は法的拘束に反対してくるでしょう。議長国であるわが国は、その間に立ってそれぞれの議題に対して取り回しを要求されるでしょう。
- 2つ目のテーマ「生物の多様性はなぜ大事なのか？」に入ります。現在地球上には、さまざまな環境に適応して進化した 3000 万種とも言われる多様な生き物が生息しています。その1つでも欠けると人類をも脅かすさまざまな影響が出るということです。例を挙げますと、ミツバチが受粉をする農作物などは、ミツバチがいなくなると耕作できなくなりますし、インドで毛皮ハンターのためにトラが激減し、その影響で鹿が増え樹木の芽を食い荒らしその影響で山が荒れ表土が流出し農耕ができなくなったり川が氾濫したそうです。又、人類の生活は野菜・魚・木材・繊維など生き物の恵みによって成り立っています。恩恵の例としては、タミフルの主原料は八角と言う中華料理にも使う漢方薬ですし、汚れのつきにくい最新のタイルはカタツムリの殻からヒントを得たそうです。又JRの新幹線がトンネルをいかに少ない衝撃で突入するか研究し先端部分のデザインに採用したのはカワセミのくちばしでした。人類にとってさまざまな生態系は必要不可欠なのです。

最後に3つ目の「いかに地元としてこの会議を支えるか」というテーマです。まずは、会議の安心安全の確保が第一です。そして参加していただく方々へ快適なサービスの提供や円滑な運営も最重要課題です。宿泊の件はホテル協会にもご協力いただきピーク時で 5000 室、平常時で 1000 室用意いたしております。そして愛知・名古屋の魅力発信ということで閣僚級会合と同時期に開催される環境技術展メッセ名古屋 2010 に、ものづくりの地・環境を PR する絶好の機会とし、ぜひとも閣僚級会合に参加される 193 カ国の方々に見に来ていただこうと考えています。又、本会議場はセキユ

リティーが厳しいですが、これだけの歴史的な大きな会議を県民市民に世代を超えて未来を考えていただく絶好の機会にさせていただきたく、入場無料の屋外会場を白鳥会場には前の公園に企業ブース・ステージを用意し、オアシス 21 には大型ビジョンで会議の様子を映し出し、秋には万博会場親子で楽しめる環境の催し物を考えています。

最後にまとめといたしまして、地元としては会議を支えるのはもちろんですが、地域や企業の PR の場としてこの COP10を活用していただき、そして直接環境には関係ないと思っておられる方も未来のため、お子様のためにも一企業人としてだけでなく、親として環境を考えるよい機会としてこれからもCOP10を注目していただけたら幸いです。本日はどうもありがとうございました。

\*\*\*\*\*

**ニコボックス**

**本日の当番 赤松 明 君**



●篠田 徹君  
 今般、人事異動により菊井町支店へ転勤する事となりました。2年半の皆様方のご厚情にお礼申し上げますと同時に、今後の益々のご繁栄を祈願致しまして、退会のご挨拶とさせていただきます。

●永田一夫君  
 17日(土)にコンサートホールで、妻がコンマスをしているセンチュリー室内管弦楽団の定期演奏会を開催します。時間のある方はぜひご来場下さい。チケットはいつでも用意します。

●河原秀紀君  
 本日の卓話は愛知県庁よりCOP10のお話にて、川様にご出席頂きました。本日はよろしくお願いたします。

●鈴木隆太郎君  
 赤松さんと初めて会った時は、まさか年下とは夢にも思いませんでした。これからも持ち前の明るさで、世の中を明るくして下さい。

●下地正孝君  
 赤松さんには日頃大変お世話になり感謝申し上げます。大変な時代ではありますが、互いに有益な情報を密に取り、この時代を乗り越えて行きましょう。

●太田雄介君  
 赤松先輩には、JC時代より大変お世話になっております。物事に動じないおおらかさと、物にこだわるダンディーさがすごいと尊敬しております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

●友情投金

鈴木元弘	井戸雅裕	杉浦 毅	山田康二	渡邊寿也
鈴木賢三	河合弘義	深津明德	天野勝美	梅村泰弘
光岡主税	岡田勝美	永井英雄	片田直幸	市川善英
倉地忠雄	孕石邦雄	光岡新吾	加藤直樹	斎藤正吉
坪井敦也	早川文喜	大山輝美	梅村正明	松尾隆延
宮戸優治郎	磯島吉晴	稲垣利彦	奥田清仁	小野雅道
斎藤直美	杉浦正典	村上雅則	鈴木幸伸	清水伸吉
鈴木万衛				

●赤松 明君  
 本日、入会以来初めてのニコ当番をさせていただきました。大変緊張しておりますが、皆様方のご協力を頂き、滞りなく終える事ができました。皆様に感謝申し上げます。

**出席状況**

出席委員会		宮戸優治郎 君		
例会日	会員数	対象会員	欠席者	出席率
4/8	82名	71名	22名	69.01%

先々週(3/25)の修正出席率 ... 95.95%

**次回の例会**

第2424回  
 日時 22年4月22日(木) 12:30~13:30  
 場所 ホテルトヨタキャッスル  
 卓話 宮戸優治郎君

豊田ロータリークラブ  
 〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12  
 Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559  
 E-mail: [office@toyotarc.jp](mailto:office@toyotarc.jp) HP: <http://www.toyotarc.jp>